

教育・保育の見込み量について

1. 量の見込みの算出に使用する推計人口 (各地区の合計)

小学生以下人口

年齢	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
0歳	336	329	321	311	303
1歳	358	349	338	330	321
2歳	395	362	352	342	334
3歳	385	392	360	350	340
4歳	404	391	397	364	354
5歳	375	405	393	398	365
6歳	373	375	404	395	398
7歳	434	372	376	404	394
8歳	459	436	373	376	405
9歳	452	457	434	370	372
10歳	468	455	457	435	371
11歳	510	467	452	458	436
0~2歳	1,089	1,040	1,011	983	958
3~5歳	1,164	1,188	1,150	1,112	1,059
6~8歳	1,266	1,183	1,153	1,175	1,197
9~11歳	1,430	1,379	1,343	1,263	1,179
合計	4,949	4,790	4,657	4,533	4,393

2. 教育・保育の量 (ニーズ) の算出について

①両親の現在の就労状況に、就労希望を反映させた「潜在」家庭類型に分布し、算出する。

《例 村上地区 3歳~就学前》

潜在家庭類型		潜在割合	H27の 推計人口 (3歳~5歳) 530人	想定人口
タイプA	ひとり親	9.2%		
タイプB	フルタイム×フルタイム	45.1%		239
タイプC	フルタイム×パートタイム (月120時間以上+48時間~120時間の一部)	27.0%		143
タイプC'	フルタイム×パートタイム (月48時間未満+48時間~120時間の一部)	4.9%		26
タイプD	専業主婦(夫)	13.2%		70
タイプE	パート×パート(双方) (月120時間以上+48時間~120時間の一部)	0.3%		1
タイプE'	パート×パート(いずれか) (月48時間未満+48時間~120時間の一部)	0.3%		1
タイプF	無業×無業	0.0%		0
全体		100.0%		530

※小数点以下の端数処理等の関係で、合計等の数値が一致しない場合がある。

②子どもの区分（1～3号認定）と対象となる家庭類型

1号認定子ども（3歳以上の教育時間のみ） ⇒ タイプ C・D・E・F

2号認定子ども（3歳以上の保育を必要とする）⇒ タイプ A・B・C・E

3号認定子ども（3歳未満の保育を必要とする）⇒ タイプ A・B・C・E

③アンケート結果から、利用意向率を算出

《例 村上地区 2号認定（認定こども園及び保育園）こどもの利用意向結果》

3歳以上のみ、  
問16「定期的に利用したい教育  
保育の事業」で幼稚園以外を選択  
した者、2号認定（幼稚園）を除  
いた者の割合。

	利用意向率 (割合)
タイプA	90.9%
タイプB	82.9%
タイプC	85.7%
タイプE	100.0%

④ニーズ量を算出

3～5歳の 推定人口		潜在割合	家族類型別 児童数	利用意向率 (割合)	ニーズ量 (人)
530人	タイプA	9.2%	49	90.9%	44
	タイプB	45.1%	239	82.9%	198
	タイプC	27.0%	143	85.7%	123
	タイプE	0.3%	1	100.0%	1
	全体	81.5%	432	85.0%	367

充足率 ニーズ量 367人 / 推定人口 530人 = 69.2%